

PRESS RELEASE



名古屋証券取引所

NAGOYA
STOCK EXCHANGE

名古屋市中区栄 3-8-20 〒460-0008
Tel 052-262-3171 www.nse.or.jp

2023年5月31日

各 位

5月社長記者会見

1. 役員候補者の決定について <資料1>
2. クロージング・オークションの導入について <資料2>

以 上

2023年5月31日
株式会社名古屋証券取引所

役員候補者の決定について

当取引所は、本日開催の取締役会において、下記のとおり2023年6月30日開催予定の当取引所第95期定時株主総会に付議する取締役候補者及び監査役候補者を決定するとともに、執行役員候補者を内定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 取締役候補者

(五十音順・敬称略)

石 田 建 昭	(重任)
奥 野 信 宏	(重任)
尾 山 英 樹	(重任)
亀 水 晋	(重任)
久 米 雄 二	(重任)
嶋 尾 正	(新任)
鈴 木 武 久	(重任)
竹 田 正 樹	(重任)
新 美 篤 志	(重任)
森 元 裕 介	(重任)

(退任取締役) 山 本 亜 土

新任取締役候補者の略歴

氏 名 (生年月日)	略 歴
しま お ただし 嶋 尾 正 (1950年2月2日生)	1973年4月 大同製鋼(株) (現 大同特殊鋼(株)) 入社 2004年6月 同社取締役 2006年6月 同社常務取締役 2009年6月 同社代表取締役副社長 2010年6月 同社代表取締役社長 2015年6月 同社代表取締役社長執行役員 2016年6月 同社代表取締役会長 (現任) 2019年6月 中部電力(株)取締役 (現任) 2022年11月 名古屋商工会議所会頭 (現任)

2. 監査役候補者

(五十音順・敬称略)

岡 地 泰 彦 (新任)
 中 嶋 善 明 (新任)
 福 田 智 之 (新任) (現 執行役員)

(退任監査役) 安 藤 敏 行、九 鬼 史 英、森 一 幸(常勤)

新任監査役候補者の略歴

氏 名 (生年月日)	略 歴
おか ち やす ひこ 岡 地 泰 彦 (1960年12月2日生)	1985年10月 岡地証券(株)入社 1995年6月 同社取締役 1999年6月 同社常務取締役 2001年4月 同社専務取締役 2018年4月 同社代表取締役社長 (現任)
なか じま よし あき 中 嶋 善 明 (1967年3月12日生)	1990年4月 (株)東海銀行入行 2009年10月 (株)三菱東京UFJ銀行 (現 (株)三菱UFJ銀行) 名古屋営業本部名古屋営業第二部次長 2014年5月 同行人事部 (名古屋) 副部長 (特命担当) 2016年6月 同行執行役員ソリューション本部シンジケーション・プロダクツ統括部長兼(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ執行役員ソリューション企画部長 2017年5月 同行執行役員名古屋営業本部名古屋営業第二部長 2018年4月 (株)三菱UFJ銀行執行役員名古屋営業本部 名古屋営業第二部長 2019年4月 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)執行役員 名古屋事業法人部の副担当 (特命) 2023年4月 同社常務執行役員名古屋駐在兼名古屋事業法人部の担当 兼事業法人協働推進部の担当 (特命) 兼事業法人営業部の 担当 (特命) 兼中部地区・東日本第一地区・東日本第二 地区の担当 (特命) (現任)
ふく だ とも ゆき 福 田 智 之 (1966年12月14日生)	1990年4月 当取引所入社 2002年7月 当取引所経営企画グループ長 2006年4月 当取引所総務グループ長 2019年7月 当取引所本部長 (グループ総括長) 2021年6月 当取引所執行役員本部長 (グループ総括長) (現任)

3. 執行役員候補者（内定）

（五十音順・敬称略）

伊 藤 和 仁 （新任）
 亀 水 晋 （重任）
 鈴 木 武 久 （重任）
 平 朋 司 （新任）
 竹 田 正 樹 （重任）

（退任執行役員） 福 田 智 之 （常勤監査役就任予定）

新任執行役員候補者の略歴

氏 名 (生年月日)	略 歴
い とう かず ひと 伊 藤 和 仁 (1966年 6 月 19 日生)	1990年 4 月 当取引所入社 2002年 7 月 当取引所市場営業グループ長 2010年 9 月 当取引所営業推進グループ長 2022年 4 月 当取引所上場推進・企業サポートグループ長（現任）
たいら けい じ 平 朋 司 (1966年 8 月 14 日生)	1990年 4 月 当取引所入社 2002年 7 月 当取引所総務グループ長補佐 2004年 4 月 当取引所業務グループ長補佐 2005年 1 月 当取引所業務グループ長（現任） 2005年 1 月 ㈱証券保管振替機構名古屋事務所長 2005年 1 月 日本証券決済㈱名古屋営業所長

2. 役員体制（2023年6月30日付、 ※兼職の状況は本日現在）

(1) 取締役（10名）

代表取締役社長	竹 田 正 樹	
常務取締役	亀 水 晋	
常務取締役	鈴 木 武 久	
取締役（社外）	石 田 建 昭	（東海東京フィナンシャル・ホールディングス(株) 代表取締役会長、東海東京証券(株)取締役）
取締役（社外）	奥 野 信 宏	（(公財)名古屋まちづくり公社上席顧問・ 名古屋都市センター長）
取締役（社外）	尾 山 英 樹	（野村證券(株)専務名古屋駐在兼名古屋支店長）
取締役（社外）	久 米 雄 二	（(株)トーエネック特別顧問）
取締役（社外）	嶋 尾 正	（名古屋商工会議所会頭、 大同特殊鋼(株)代表取締役会長、中部電力(株)取締役）
取締役（社外）	新 美 篤 志	（日本車輛製造(株)取締役）
取締役（社外）	森 元 裕 介	（大和証券(株)常務取締役名古屋法人担当）

(2) 監査役（3名）

常勤監査役	福 田 智 之	
監査役（社外）	岡 地 泰 彦	（岡地証券(株)代表取締役社長）
監査役（社外）	中 嶋 善 明	（三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株) 常務執行役員名古屋駐在）

(3) 執行役員（5名）

代表取締役社長	竹 田 正 樹
常務取締役	亀 水 晋
常務取締役	鈴 木 武 久
執行役員	伊 藤 和 仁
執行役員	平 朋 司

以 上

クロージング・オークションの導入について

2023年5月31日
株式会社名古屋証券取引所

I 趣旨

当取引所は、市場参加者のニーズや利便性等を考慮し、2024年11月に予定されている東証arrowheadのシステム更改にあわせて、終値形成における透明性の向上を目的として、午後立会の売買立会終了時の売買においてクロージング・オークションを導入することとします。

II 概要

項目	内容	備考
1. クロージング・オークションの導入	<ul style="list-style-type: none"> 立会市場の午後立会の売買立会終了時の売買において、クロージング・オークションを導入します。 ザラバ取引の終了時（15時25分）から、5分間の注文受付時間（プレ・クロージング）を設けた後、15時30分に板寄せを実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> 株券（投資信託受益証券等を含む）のザラバ取引の終了時間は15時25分とし、クロージング・オークションを15時30分を実施します。 債券及び転換社債型新株予約権付社債券はクロージング・オークションの対象外とし、15時30分までザラバ取引を継続します。 プレ・クロージングにおいては寄り付き前と同様に板状況の配信を行います。 午前立会終了後に発注された引け条件付注文及び不成注文（ザラバ取引中に指値注文が約定しなかった場合の引け成行注文）は、プレ・クロージング開始時に板に登録されます（引け条件付空売り指値注文

項目	内容	備考
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売買成立可能値幅内では板寄せの条件を充足しない場合でも、当該値幅の上限（下限）値段において約定処理の対象となる注文が存在する場合には、当該値幅の上限（下限）値段を約定値段として、時間優先により約定処理を行います（特別約定）。 	<p>の価格規制チェックもプレ・クロージング開始時に行います）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プレ・クロージングに板登録された注文（プレ・クロージング開始時に板登録された引け条件付き注文及び不成注文を含みます。）は、同時呼値注文として扱います。 ・ なお、プレ・クロージングにおける不適切な取引形態（予想対当値段に影響を与えるような注文値段の変更及び取消し）を防止するための枠組みの導入の必要性について今後検討を行います。 ・ クロージング・オークションにおける売買成立可能値幅は現状の立会終了時と同様、通常の更新値幅の2倍です。 ・ 特別約定方式による約定処理の対象となる注文は、売買成立可能値幅の上限（下限）値段に発注された注文及び当該上限（下限）値段に優先する値段に発注された注文となります。 ・ 特別約定方式を採用する場合、同時呼値注文の適用は行わず、時間優先により約定処理を行います。また、取引参加者ごとの名寄せも行いません。 ・ 制限値幅の上限（下限）値段で売買が成立する場合には、これまでと同様、当該上限（下限）値段においてストップ配分を行います。

項目	内容	備考
2. その他	・ その他所要の改正を行います。	

III 実施時期

arrowheadのシステム更改（2024年11月5日）にあわせて実施します。

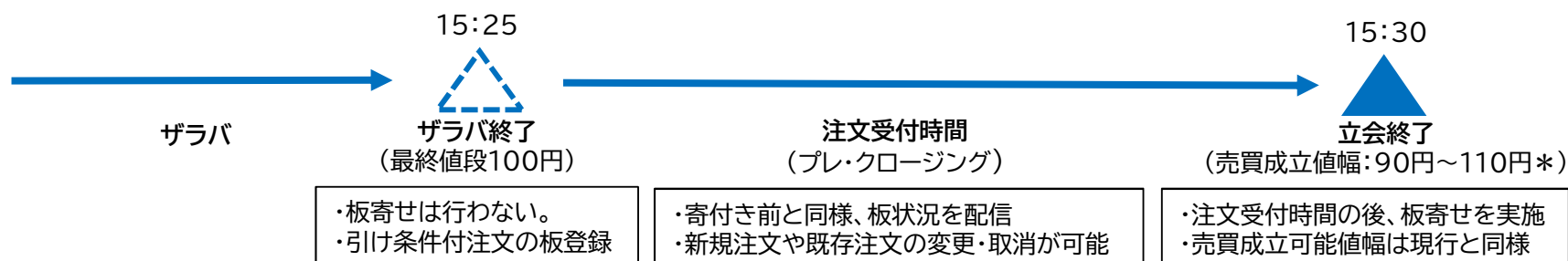
以上

【参考】クロージング・オークションの概要



- ・ 終値形成における透明性向上を目的として、立会市場の後場大引けにクロージング・オークションを導入
- ・ ザラバ取引の終了後に注文受付時間を設け、多様な投資家の需給を十分に取り込み大引けの板寄せを実施

項目	内容	備考
注文受付時間 (プレ・クロージング)	・ 15:25～15:30までの5分間	・ 不適切な取引形態(予想対当値段に影響を与えるような注文値段の変更・取消)を防止するための枠組みの導入の必要性について今後検討
売買成立可能値幅	・ 直前約定値段等から更新値幅の2倍まで成立可能	・ 現行の大引けの板寄せにおける売買成立可能値幅と同様
注文の取扱い (引け条件付注文)	・ 引け条件付注文及び不成注文(ザラバで指値注文が約定しなかった場合の引け成行注文)は、プレ・クロージング開始時(15:25)に板登録	・ 引け条件付空売り指値注文の価格規制チェックについては、プレ・クロージング開始時に実施
注文の取扱い (同時呼値注文)	・ プレ・クロージング中に板登録された注文は同時呼値として扱う	・ プレ・クロージング開始時に板登録された引け条件付き注文及び不成注文を含む
特別約定 (終値成立機会の向上)	・ 売買成立可能値幅内で板寄せ要件を充足しない場合でも、当該値幅の上限(下限)値段において約定処理の対象となる注文が存在する場合は、当該値段を約定値段として約定処理を実施	・ 約定処理の対象となる注文は、①売買成立可能値幅の上限(下限)値段に発注された注文及び②当該値段に優先する値段に発注された注文 ・ 制限値幅の上限(下限)値段で売買が成立する場合は、現行と同様、ストップ配分を実施



* ザラバ終了時の最終値段(100円)における更新値幅×2